

平成30年度(2018年度)

管理事業名	地域環境衛生事業			総合計画の体系	第5章 環境を守り育てるまちづくり 第1節 環境負荷の少ない住みよいまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 6 環境衛生費
部局名	環境部・総務部・健康医療部	予算執行所属	地域環境課・人事室・保健センター・環境保全課・事業課・破砕選別工場		
予算大事業名	衛生害虫等駆除事業、市有墓地管理事業 空地管理事業 飼い猫等避妊・去勢手術補助事業 環境衛生事業 事業の目的と概要 【目的】地域を衛生的に保つ事業を通じ、安全で健康かつ快適な生活を営むことができる良好な環境を保つことを目的としています。 【概要】公共施設で発生した不快害虫や衛生害虫の駆除を行う事業です。・市有墓地の使用許可等墓籍管理、光熱水費の負担、除草剪定、修繕整備工事等施設の維持管理を行う事業です。・空地が良好に管理されないことにより近隣住民の生活環境に著しい影響を及ぼしている場合に、空地の所有者等に対して、雑草の除去等必要な措置や対応を指導する事業です。・市民に飼い猫等の避妊・去勢手術を促すため、手術経費の補助として飼い猫1匹2,500円、野良猫5,000円(1世帯につき2匹まで)を交付する事業です。・飲用水等の安全を確認することにより飲用水等の使用者の健康を確保するため、水道法等に基づく届出受理及び立入検査等により施設の適切な水質管理に関し、助言・指導を行う事業です。・大阪府知事から指示された感染症の発生場所及び二次感染の恐れがある場所の消毒を行い、感染拡大を予防し、公衆衛生の確保を図る事業です。・吹田市新型コロナウイルス等対策行動計画に基づき、必要な物資の備蓄を行う事業です。				

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
飼い猫等避妊去勢手術補助件数	件	217	229	238	飼い猫等避妊去勢手術補助実績
害虫駆除散布箇所数	箇所	601	526	833	薬剤散布箇所数
成果の説明	猫の放し飼いは避妊・去勢を行わない場合、1年間で数十匹増える可能性もあることから、飼い猫及び野良猫の避妊・去勢手術費用を補助しています。また、平成28年度より、飼い猫については一定飼い主の飼養責任があることから、補助額を減額いたしました。その結果、より多くの手術件数を補助することができたため、平成30年度はキャンセル待ちの件数が0件となりました。 河川等におけるユスリカ等の発生抑制や、公共施設における毛虫等の被害に応じた駆除のために薬剤散布を行いました。平成30年度は前年度に対し、害虫の発生が多かったため、薬剤散布箇所数が増加しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差額
		A	B	B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	10,008	2	9	7
経常収入				
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	100	134	264	130
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	10,108	136	273	137
給与関係費	25,623	23,714	27,566	3,853
物件費	14,955	12,073	13,215	1,142
維持補修費	1,515	199	8,831	8,633
経常費用				
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	998	1,000	990	△10
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
費用				
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,863	1,809	2,073	264
退職手当引当金繰入額	△2,806	280	5,359	5,078
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	42,147	39,075	58,035	18,960
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△32,039	△38,939	△57,762	△18,823
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	4,384	4,384
特別収入 小計(d)	-	-	4,384	4,384
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	4,384	4,384
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△32,039	△38,939	△53,378	△14,439
一般財源充当額	37,227	40,665	50,130	9,465
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	5,188	1,726	△3,248	△4,974

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	衛生害虫駆除委託料 9,965千円 市有墓地管理委託料 1,388千円 水質検査委託料 428千円
維持補修費	市有金田墓地ブロック塀改修工事 8,769千円ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	差額
		A	B	B-A
行政サービス活動収入	10,108	136	273	137
行政サービス活動支出	47,335	40,801	54,787	13,986
行政サービス活動収支差額	△37,227	△40,665	△54,514	△13,849
投資活動収入	-	-	4,384	4,384
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	4,384	4,384
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△37,227	△40,665	△50,130	△9,465
一般財源充当額	37,227	40,665	50,130	9,465
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	行政サービス活動支出:衛生害虫等駆除委託料ほか

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	114 円	職員数の増加に伴う給与関係費及び維持補修費の増加により、市民1人あたりのコストが増加しています。(各年度3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	平成29年度	370,072 人	106 円	
	平成30年度	371,030 人	156 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,809	2,073	264
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,809	2,073	264
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	338,774	338,774	-	固定負債	19,656	22,639	2,983
土地	338,774	338,774	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	19,656	22,639	2,983
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	21,465	24,713	3,248
インフラ資産	-	-	-	純資産	317,309	314,061	△3,248
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-	純資産の部合計	317,309	314,061	△3,248
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	338,774	338,774	-
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	338,774	338,774	-				

Ⅲ 財務構造分析

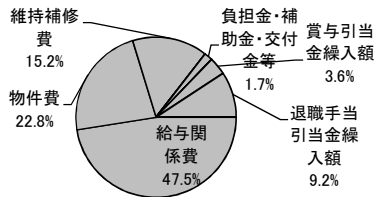
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	3.41 人		203 日		
給与関係費等	32,500 千円		2,499 千円		34,998 千円
内、時間外勤務手当	392 千円				

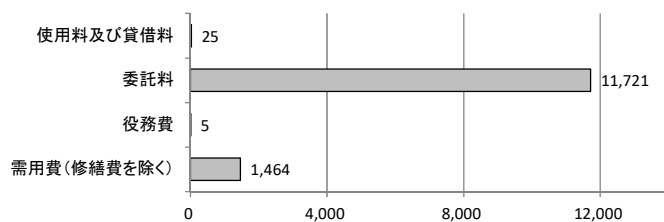
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		23.7	0.0	0.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		78.6	99.7	91.5	△ 8.2

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものは、給与関係費27,566千円(47.5%)、物件費13,215千円(22.8%)、維持補修費8,831千円(15.2%)、退職手当引当金繰入額5,359千円(9.2%)、賞与引当金繰入額2,073千円(3.6%)、負担金・補助金・交付金等990千円(1.7%)となっています。負担金・交付金等の990千円は、飼い猫等の避妊・去勢手術を受ける飼い主等に1匹につき2,500円又は5千円の補助をしているものです。なお、物件費の主な支出は衛生害虫等駆除委託料で9,965千円です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

飼い猫等の避妊・去勢手術の補助は、みだりに猫を繁殖させないことにより、野良猫の減少を図るとともに、市民や地域に対する迷惑、危害の防止に努めるために必要な事業です。
従来の補助制度のあり方を見直し、平成28年度より飼い猫と野良猫に対する補助額に差を設けることで、例年以上の交付決定が可能となり、改正した平成28年度以降増加しており、限られた予算内で一定の成果をあげることができました。
今後も広く補助制度利用を促し、不幸な猫が生まれることのないよう、より効率的な補助について考える必要があります。